

コミュニティ・スクール通信

～主体的に学び、人と関わり、社会の創り手となる子ども～
～たくましく生き、他人を思いやる子ども～

令和7年 5月28日
厚沢部町立厚沢部小学校
学校運営協議会事務局
No. 1

令和7年度の厚沢部小学校学校運営協議会始動

第1回目の学校運営協議会を5月22日（木）に開催しました。

今年度は新たに加わった鶉地区の八重樫康司氏を含め8名の皆様に委員を快くお引き受け頂きました。ありがとうございます。また、委員の互選により会長と副会長を選出しました。その結果、昨年度に引き続き、会長は尾山浩崇氏、副会長は橋端純恵氏となりました。今回の協議事項は以下の通りです。

- 1 学校経営方針について
- 2 児童の実態と今後の取組について

学校運営協議会委員

会長	尾山 浩崇（再任）
副会長	橋端 純恵（再任）
委員	土谷 清一（再任）
//	近藤 良信（再任）
//	中野 久美（再任）
//	澤口 修（新任）
//	倉谷 弘（再任）
//	八重樫康司（新任）
町教委事務局長	二宮 和之
町教委指導主事	加藤 一義
（校長）	久慈 学
（教頭）	荒谷 真一
（事務職員）	廣島 充



今年度も第2回学校運営協議会は紙面報告、第3回学校運営協議会は2～3月を予定しております。

その他、臨時に協議会を開催することもあります。

1 学校経営方針について

学校長より、以下の通り学校経営方針の説明がされました。

今年度は、【学校教育目標】を新たに「自分とみんなのしあわせを考え、その実現をめざす子供の育成～ウェルビーイングな厚沢部小学校～」としました。「ウェルビーイング」とは、しあわせをもう少し広く包括的な概念で捉えたものです。小学生には少し分かりにくい言葉なので、「自分とみんなのしあわせ」という言葉に置き換えています。そして、子供たちの今のしあわせ、将来のしあわせのために学校があるという、学校の原点に立ち返り、まずは

- ・子供も職員もしあわせを感じることでできる学校
 - ・しあわせの本質を考えることでできる学校
- を目指していきたいと考えています。

2 児童の実態と今後の取組について

教頭より、始めに4月に本校6年生を対象に行われた全国学力・学習状況調査の児童質問紙調査をもとに、本校児童の実態について具体的な説明をしました。また、4月から新しく入学した1年生や、統合した鶉小学校の児童の様子についても詳しく説明いたしました。その後は、委員の皆様から地域における子どもたちの様子について貴重な情報をお聞かせいただきました。特に、子どもたちの元気な挨拶や、通学路で横断時に車に一礼するという児童の話が印象的で、地域の方々に見守られ、子どもたちが健やかに成長していることが伝わってきました。貴重な情報をありがとうございました。今後も、子どもたちの校外での様子について、引き続き情報をお寄せいただけると幸いです。

今年度も、学校運営協議会の皆様をはじめ、地域の皆様の力強いご支援・ご協力を心よりお願い申し上げます。学校が地域と一体となり、子どもたちがより良い学校生活を送れるよう努めていきます。